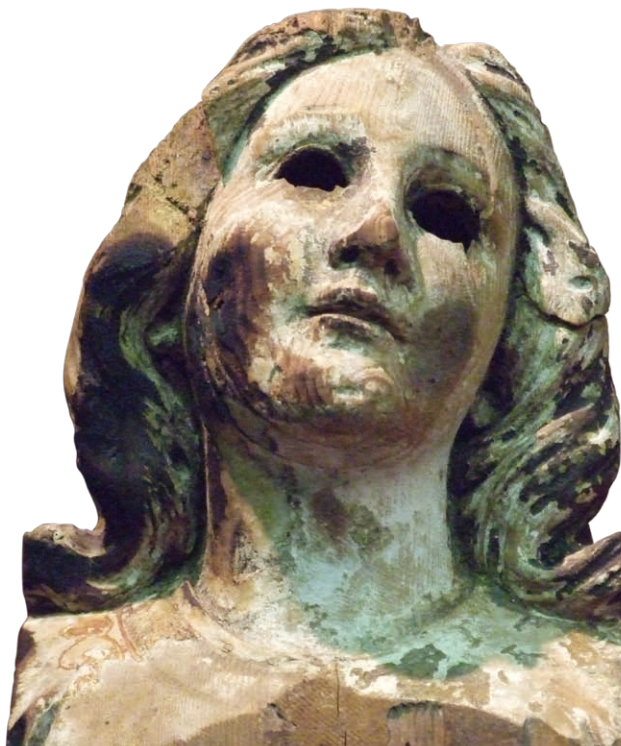


# 祈り

—幻に長崎を想う刻—



被爆マリア像

## 日本演劇界の金字塔をついに映画化!!

「光のマリア」には、原爆を落とされた唯一の国、日本の祈りと愛がある! 長崎を原爆最後の投下地に! マザーテレサ「原爆は悪魔の行為です。核を作った人は、どういう結果をもたらすか、ここを見てほしい(長崎にて)」

[ストーリー]

昭和32年(1957年)暮れ、被爆した浦上天主堂の保存を巡って騒然とする長崎の夜の街で働く2人の女がいた。昼は看護婦、夜はケロイドを隠して娼婦として働く鹿。病床の夫の詩集を売りながら鹿に男を世話する客引きの忍。女たちは消えていく戦争の“しるし”として、マリア像の残骸を命がけで集めていた。

そして雪の降り始めた大晦日、被爆の傷跡を負った男たちと共に、最後に残ったマリアの首を盗みに行くが、そこには思いもしない結末が待っていた——。

被爆マリア像「子供たちに、うちのお乳ばたっぷり飲ましておあげん。とっても甘か甘かとば」…

■原作(舞台脚本) 田中千禾夫「マリアの首」—幻に長崎を想う曲—

■シナリオ 渡辺善則 松村克弥 亀和夫

■プロデューサー 亀和夫 城之内景子

■監督 松村克弥 「天心」(竹中直人,中村獅童,木下ほうか,温水洋一)

「サクラ花-桜花最期の特攻-」(大和田健介,緒形直人,林家三平,三山ひろし,語り・役所広司)東京都推奨映画

「ある町の高い煙突」(井手麻渡,渡辺大,小島梨里杏 / 大和田伸也,伊寄充則,小林綾子,斎藤洋介,遠山景織子

六平直政,渡辺裕之,螢雪次朗,石井正則,城之内正明,たくみ稜 / 吉川晃司,仲代達矢)

■映画「光のマリア」を応援する会 顧問:カトリック長崎大司教 ヨセフ高見三明 他

呼びかけ人:長崎放送 代表取締役社長 東 晋 長崎新聞社 代表取締役社長 徳永英彦 長崎県医師会 会長 森崎正幸 他

■主題歌 さだまさし「祈り」

(「新自分風土記I~望郷篇~」より)